

□■養成所ニュースプラス第 11 号 2024□■

パリオリンピックが始まり、眠れない日が続いている方もいるのではないのでしょうか。本日から名古屋でスクーリング 2 が始まりました。睡眠を確保して 3 日間を乗り切りましょう。

Plus Quiz は「福祉サービスの組織と経営」から「人材の確保・育成」を取りあげます。35 期 5 学期レポートの課題番号 2 とも関連します。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみましょう。

※スクーリング名については、ローマ数字が文字化けするため算用数字で記載しています。

■Plus Quiz ・ ・ ・ ・ ・

【第 35 回問題 124】人材の確保や育成に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 360 度評価（多面評価）とは、評価者である上司が、職員の能力や業績だけでなく、性格、志向、特技などを多面的に評価する手法を指す。
2. 人事考課においては、ある対象を評価する際に、部分的で際立った特性が、全体の評価に及んでしまうハロー効果が起こることがある。
3. OJT（On the Job Training）とは、日常の職務を離れて行う教育訓練方法のことを指す。
4. 職員のキャリアや能力の開発を目的に人事異動を実施することは、望ましくないとされている。
5. エルダー制度は、新入職員のセルフラーニングを通じた自己啓発の仕組みである。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info ・ ・ ・ ・ ・

- ・（35 期生）教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・（36 期生）教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。

- ・（36 期生）見込書類（実務経験証明書）のさしかえについて

入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。

- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info ・ ・ ・ ・ ・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 37 回国家試験は、令和 7 年 2 月 2 日（日）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331847&c=3246&d=99c7>

※試験時間、試験科目（午前・午後の内訳）が公開されました。←New

- ・第 37 回社会福祉士国家試験『受験の手引』請求窓口が開設されました。←New

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331848&c=3246&d=99c7>

※上記 URL にアクセスし「3 申し込み手続き方法」を確認してください。

- ・第 37 回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331849&c=3246&d=99c7>

- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331850&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331851&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1331852&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第8号／先輩からのメッセージ】

東京スクーリング2でも多くの受講生の皆さんと話ができました。皆さんがご自身に合ったツールは何か、新出題基準に基づく第37回国家試験に向けた準備をしようとしている気持ちが伝わりました。

今回は、受験対策の開始時期や学習計画に関する先輩の声を届けます。

○夏から始めた先輩の声 レポート終了後すぐ試験勉強を始めた。／勉強はスクーリングの後2年目8月から始めた。／計画を立てるのが苦手なので、DMの学習スケジュールを参考に始めた。／学習計画を立てて臨んだが、仕事が忙しかったり、計画した内容に時間がかかったり何度か計画を見直した。思った以上に余裕を持った学習計画が必要。

○合格できなかった先輩の声 勉強の取り掛かりが遅すぎた。／仕事が忙しくモチベーションが上がらなかった。計画的な日々の積み重ねを痛感。次回は余裕をもって臨みたい。

中には知識の蓄積や活用ができていて、11月から始めて合格した先輩もいました。しかし、始める時期が遅くなるほど勉強時間の確保の負担は大きくなります。業務や健康面で想定外の状況になった際には、計画の変更も難しくなります。知識の定着に不安がある方こそ、今すぐ始めましょう。

計画を立てるためにお伝えしたのが、「今」模擬試験を受ける、もしくは、模擬問題に本番と同じように取り組んでみると、新出題基準には準じていませんが、34回～36回のいずれかの過去問を解いてみてご自身をアセスメントすることです。「社会福祉士模擬試験」で検索してみましょう。金額や実施日程、会場受験か自宅受験か、解答や解説集がいつ手に入るか等比較して、自分に合ったものを受けてみましょう。中央法規、日本ソーシャルワーク教育学校連盟の他にも条件に合うものがあるかもしれません。次回の受験対策ミニ講座はお休みし、Plus Quizと各種Infoのみ配信いたします。

【Plus Quiz 正答と解説】

今月10日に、介護労働安定センターから「2023年度介護労働実態調査」結果が公表されました。人材の確保・定着では、依然として人材不足感が強いですが、採用率は増加し離職率は低下傾向が続いていました。採用と職場定着を促進する要因では、職場の人間関係改善が定着の最大の要因であること、労働者の就業実態と仕事に対する意識では、「仕事の内容・やりがい」「職場の人間関係・コミュニケーション」に関する満足度が高く「賃金」の満足度が最も低いことが示されています。この結果から各職場の働く環境の改善や人材の確保と定着について考えることができます。

厚生労働省は、2026年度に必要な介護職員が全国で約25万人不足していると発表しました。より良い職場環境を整え職場定着を図り、人材の確保を進めていくための実践は、施設単体、法人単体だけでなく、地域ぐるみでの取組も行われています。

この科目では、「組織間連携と促進」「情報管理」「福祉人材マネジメント」が新たな項目になりました。第1章第3節、第3章第4節、第4章第2節の内容が該当します。青太字の用語を中心に確認しておきましょう。

1. ×360度評価は、評価者を多面的にするもので、上司や同僚、部下、関連他部門の担当者、顧客等多方面から評価し、自己評価も含まれます。自身の強味や弱みを認識できます。

2. ○ハロー効果は、人事考課における代表的な評価バイアスのひとつです。特に優れたり劣ったりするような部分的な特性が全体の評価に及んだり、最初の印象がその後の評価に及んだりします。その他にも中心化傾向、投射効果、論理誤差、対比誤差等があります。

3. ×選択肢は OFF-JT の説明です。OJT は職場内の上司や先輩が具体的職務をととして技術や能力等の指導を行う方法です。

4. ×人事異動は、組織の都合によるものだけではなく、職員側のキャリアやスキルの開発・向上を図るためにも行われます。

5. ×エルダー制度とは、知識や技術をもつ先輩職員が実務を中心に相談にのったり支援する制度です。同様の制度であるメンター制度は、業務だけではなく生活面やメンタル面の相談や支援を行います。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus